

① 自身の仕事

大学職員・事務職

② 自身の仕事の紹介

民間企業での勤務を経て、現在は国立大学法人千葉大学の事務職員をしています。

大学の主な役割は教育と研究です。皆様が抱く大学職員のイメージも、窓口で学生や教員に対応する姿であるかと思います。しかし実際は、企画・総務・人事・財務・情報管理・施設整備など、民間企業と同じような業務が多いです。

全ての国立大学は 2004 年から、民間の事業者である国立大学法人が運営しています。それまでは国が大学を運営していたので、大学で働く教職員は公務員であり、必要な予算は国からもらうことができました。しかし、法人化以降は、教育研究に必要な資金の獲得を含め、大学法人が自力で「経営」をしなければならない状況になっています。

私の現在の業務は、大学の目標・計画の進捗管理の仕組みを作ることです。例えば千葉大学には老朽化した建物が多く、これらの修繕や建て替えに関して「キャンパスマスタープラン」という計画を策定しています。しかし、この計画自体がそもそも適切な内容となっているか、計画通りに修繕が進んでいるか、計画通りでないならどのような経営判断をするか、といった、いわゆる PDCA サイクルが学内でルール化されていないという課題があります。こうした経営上の課題については、教育・研究の専門家である教員ではなく、事務職員が主体的に解決していく必要があります。多くの教職員は法人化以前の感覚が抜け切れていないため、経営課題の解決は一筋縄ではいきませんが、その難しさが、私にとってはやりがいとなっています。

③ 自身の業界へ興味がある在学生の皆さんへのアドバイス

公的機関の仕事では、複雑で意味が分かりにくい文書に出会うことがあります。文書の内容を上司や取引先に伝える時には、内容を正確に理解したうえで、相手にとって分かりやすい言葉を選ぶ必要があります。これが出来ない人が結構多く、逆にそれが出来れば貴重な人材になれると思います。憲法・民法・刑法といった法律科目では、裁判所の判決文や法律の条文、対立する学説に関する解説など、難しい文章をたくさん読むことになると思います。法律コースを選択する学生の皆様には、「どんなに分かりにくい文章でも、理解できるまで辛抱強く読む訓練」をしていただきたいと思います。

また、コース選択や職業選択とはあまり関係ないことですが、海外への留学や外国人留学生との交流を大切にしていきたいです。若いうちに自分と異なる価値観に触れることで、その後の人生の幅が大きく広がると思います。

(2022 年 10 月)